オレにも言わせろ!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

Vol.136

日本は小作人根性に溢れてる(2)



宮井能雅

1953年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

国道にはみ出た雑木は誰が切るのか?

私は毎朝、子供たちを学校に車で送ることを18年間やっている。毎朝同じところを通るので、同じことが起こる。自宅の長沼から国道に入り、広島の人たちが開拓した北広島に向かう。北広島の市街地を抜けて、しばらくして右折すると左側に500mくらいの雑木並木がある。並木道で風情があると言えば聞こえはいいのだが、このセンターラインのない道路を通って5年になる。

なんともこの道路の所々微妙に、はみ出たイヤらしい雑木が気になった。ある時、目の前を走る黒い車のドアミラーが、見通しの悪い左カーブにある雑木にぶつかる場面に出くわした。そこで、明日は我が身だと思い、「自費で木を処分するのでやらせてほしい」と昨年5月頃に関係部署へ申し出たら、事務所内で最先端のコンピューター画像地図と、にらめっこする羽目に陥った。

道路は市の所有になるが、雑木との境界がこれまた複雑怪奇で、結局は木の所有者である国にお伺いを立てることになった。市の担当者からは「国有林を相手にするのは難しいよ」と言われたが、市もこの雑木をかなり意識していたようで、今回の私の提案を国有林の担当事務所に聞いていただけることになった。

実は、プランBも用意していた。国にただ申し出てもケンモホロロに扱われる可能性もあったからだ。

この道路には、はみ出た雑木があり、カーブなので、間違いなく交通事故が起きる。私自身も冬期間に何度か雪山に突っ込んだ車両を目撃していた。近所の人にも話を聞き、年に数回、たった500mの区間で事故が発生している証言を複数得た。

そこで交番に行き、過去3年間に、この500mでどのくらいの事故が発生しているか調べてもらった。1週間後にその回答を聞きに交番に向かい、得た回答とは――**お巡りさん曰く「ハイ、3年間交通事故の報告はありません」と。**

えっ! うそだろ。複数の者が年に複数回事故があったと言っているし、私自身も前を走行している車のドアミラーが雑木にぶつかったのを見ているのに。車両保険や対物保険に加入して、事故があれば警察の事故証明が必要なはずなのに。ってことは保険に加入していなかったのか?

これは確率的にあり得ないことだ。札幌市厚別署さん、何を隠しているのですか?

そして、国からは意外な理由で残念な回答が出た。国有林の事務所が言うには、安全上ということであれば伐採は可能だが、国有財産なので台帳に記載されているかどうか、どのくらいの価値があるかどうかを

調べる必要があるという。さらに「おおよそ1本当たり5万円から8万円の費用がかかりますが、どうしますか？」となった。

伐採したい本数はおよそ20本、最低でも10本。ん～ん、答えがいくらになるかわからず、掛け算をもう少し勉強しておくべきだった。

そんなモヤモヤ状態が続いたが、幸か不幸か、あの昨年9月5日の台風が襲来した。風下だったのにも関わらず道路沿いにあった20本以上の国有林が倒れてしまったのだ。

早速、市の担当者のところに向かい、「やはり以前から指摘した通り、あの木々は危険ですから切るべきです」と伝えた。伐採したい木の半数は風で倒れたので、市が撤去してくれた。しかし、あとの半数の木のうち、グラついた状態だったり、明らかに危険な木を選び、チェーンソーが活躍した。

作業の原則は安全である。安心かどうかは知らない。たった500mではあるが、カーブがあるので、その前後には大学生のアルバイトに無線を持たせ、車の通過を確認させた。ふとーくてかったーい♡（太くて硬い）木が多く、チェーンソーの歯も2回交換した。すべての経費は8万円なり。誰のためでもない。自分が安全に通過できるかどうかの判断であり、他者の評価には興味はない。

それにしても不思議だ。このセンターラインのない道路は厚別（札幌の東端）から北広島に抜ける近道でもある。毎日少なくても千台を超える車が通るのに誰一人として木を切れ！と関係機関に言いに行った者はいないそうだ。子供の学校は土曜日もあるので、やはりその道を通ることになるが交通量は平日の1／3くらいになる。では、2／3の〝いつも通る運転手〟は何をしてるの？

やれよ！　行政に頼るなよ！　はぁー、究極の小作人根性見たり、といったところだ。

自宅回りでNTTの電話線に接触している雑木が多く見られる。そのような場合、NTTは電話線にカバーを付けて保護しているようだが、近隣の農家が木を切れば問題ないのに、それをやらないのはなぜか？　小作人根性の持ち主だったら、答えを知っていますよね？　NTTも交渉するのが面倒だから保護カバーで済ませるんでしょうね。

人の為？　いや、自分の利益のためにやります！

地元長沼でも農場の作業範囲、移動範囲の道路の雑木を切る作業を、10年くらい前から少しずつ始めた。理由は簡単だ。コンバインや自走スプレーヤーが枝にぶつかるのでバッツサリと切り払っておくのだ。

ある時、とある個人宅の庭先の木が邪魔なので切らせていただいた。「よほどアンタはめでたいか、立派なのかどちらかだ」と言われたが、どちらでもない。自分の利益のためであり、機械が壊れないためにやっているのであって、他人さまの評判のためにやっているのではない。今度、私の農地の周りを見てください。ないですよー、雑木が。貧乏は良いとしても、**雑木があるビンボー臭いのは、次の世代にコピーされますからね。**

ところで農地、水、環境とやらの予算でこの雑木対策やらないのはなぜでしょうね。**まぁ、農家は公共よりも目の前の現金が良いのでしょうね。**

子供を学校で下ろして反対車線を通って自宅に向かうが、200mくらい先の左から来る信号のないT字の交差点がある。これまた危険なのだ。笹が2mくらいに伸びてお互いの車が見えない。そこで今年の春に熊出没注意のなか刈り払い機で100mの距離、幅は3mくらいで除草作業を行なった。実作業はアルバイトに任せ、私は安全のために剣先スコップでイザという時に熊を退治する自衛策を取った。

帰り道にはガソリン・スタンドがある。その出入り口の周りは6月下旬になると、雑木や雑草が伸びて、やはり車の出入りに障害が出てくる。そこで私が刈り払い機できれいにした。当然スタンドの従業員もいつもの客である私が作業しているのを見ているので挨拶してくる。

作業終了後に「来年からはそちらでやってくださいね♡」とステンレスの手釜を渡したが、全くやる気がない。仕方ないので、スタンドの本社に写真と理由を書いた書類を送ったら、国道の出入り口はきれいになった。従業員は「国道だから除草は国の仕事なんだけど」と言い訳するが、地元愛がある長沼の農家たちは自宅前や関係のない国道脇も除草しますよと伝えた。

大きなお世話に聞こえるが、スタンドから国道に出入りする時のドライバー目線に雑草があると危険極まりない。他人の幸せのためにやっているのではない。すべては自分の利益のためである。小学校で「人の為になることをしなさい」と教育を受けて試験でワザと零点を取ったら、親から大目玉を食らった。その時から考えを改め、自分の利益のために働き、その結果みんながコピル選択をできることを目指している。

なんか文句ありますか？